

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【公開番号】特開2007-13568(P2007-13568A)
 【公開日】平成19年1月18日(2007.1.18)
 【年通号数】公開・登録公報2007-002
 【出願番号】特願2005-191716(P2005-191716)

【国際特許分類】

H 04 N 5/44 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/44 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

テレビ番組放送と、当該テレビ番組放送の途中に放送されるコマーシャル放送とを含むテレビ放送を受信する受信手段と、

前記受信されたテレビ放送がテレビ番組放送とコマーシャル放送の何れであるかを判断する判断手段と、

前記判断に基づいて、前記受信されたテレビ番組放送の映像を記録する記録手段と、

前記受信されたテレビ放送の映像を表示可能であり、かつ、前記判断に基づいて、前記コマーシャル放送の受信中に、前記記録された映像のうち少なくとも一部を表示するよう制御する表示制御手段と

を具備することを特徴とする電子機器。

【請求項2】

請求項1に記載の電子機器であって、

前記受信手段は、前記コマーシャル放送を前記テレビ番組放送の途中に複数回受信し、

前記表示制御手段は、前記受信中の第1のコマーシャル放送と、当該第1のコマーシャル放送の一つ前に受信された第2のコマーシャル放送との間に受信されたテレビ番組放送の映像の少なくとも一部を表示するよう制御する

ことを特徴とする電子機器。

【請求項3】

請求項2に記載の電子機器であって、

前記記録された映像を基に、前記第2のコマーシャル放送と前記第1のコマーシャル放送との間に受信されたテレビ番組放送の前記映像を要約した要約映像を作成する作成手段を更に具備し、

前記表示制御手段は、前記作成された要約映像を表示するよう制御する

ことを特徴とする電子機器。

【請求項4】

請求項3に記載の電子機器であって、

前記要約映像は、前記第2のコマーシャル放送と前記第1のコマーシャル放送との間に受信されたテレビ番組放送の前記映像を所定時間毎に抽出して各抽出映像を繋げた動画像であることを特徴とする電子機器。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の電子機器であって、
前記作成手段は、
前記抽出された各抽出映像の一部の静止画像をそれぞれ抽出する手段と、
前記抽出された各静止画像を縮小する手段を有し、
前記表示制御手段は、前記縮小された各静止画像を並べて表示するよう制御することを特徴とする電子機器。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の電子機器であって、
前記表示制御手段は、前記縮小された各静止画像をマトリクス状に並べて表示するよう制御することを特徴とする電子機器。

【請求項 7】

請求項 3 に記載の電子機器であって、
前記記録手段は、前記テレビ番組放送の音声を更に記録する手段を有し、
前記作成手段は、
前記記録された映像及び音声のうち少なくとも一方に基づいて、前記テレビ番組放送の番組内容を認識する手段と、
前記認識に基づいて前記要約映像を作成する手段と
を有することを特徴とする電子機器。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の電子機器であって、
前記表示制御手段は、前記受信中のコマーシャル放送の映像と、前記記録された映像とを同時に表示するよう制御することを特徴とする電子機器。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の電子機器であって、
前記表示制御手段は、前記受信中のコマーシャル放送が終了して前記テレビ番組放送が再開されるのにに基づいて、前記記録された映像の表示をフェードアウトするよう制御することを特徴とする電子機器。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の電気機器であって、
前記表示制御手段は、前記受信中のコマーシャル放送が終了して前記テレビ番組放送が再開されるのと同時に前記表示を当該再開されたテレビ番組放送の映像の表示に切り替えるよう制御することを特徴とする電子機器。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の電気機器であって、
前記表示制御手段は、前記受信中のコマーシャル放送が終了して前記テレビ番組放送が再開されてから所定時間経過後に前記表示を当該再開されたテレビ番組放送の映像の表示に切り替えるよう制御することを特徴とする電子機器。

【請求項 12】

請求項 3 に記載の電子機器であって、
前記受信手段は、第 1 のチャンネルのテレビ放送と第 2 のチャンネルのテレビ放送を受信可能であり、
前記表示制御手段は、第 1 のチャンネルのテレビ放送の映像の表示と第 2 のチャンネルのテレビ放送の映像の表示とを切り替えるよう制御することが可能であり、

当該電子機器は、前記第 1 及び第 2 のチャンネルで放送予定のコマーシャル放送の終了時刻情報を予め記憶する手段を更に具備し、

前記作成手段は、前記表示制御手段により表示チャンネルが前記第 1 のチャンネルから第 2 のチャンネルへ切り替わったときに、当該第 2 のチャンネルで前記コマーシャル放送が受信された場合には、前記記憶された終了時刻情報に基づいて、前記記録された映像のうち、前記切り替え時から当該終了時刻までの時間分の前記要約映像を作

成することを特徴とする電子機器。

【請求項 1 3】

請求項 1 に記載の電子機器であって、

前記表示制御手段は、前記記録された映像を表示中であることを示す文字情報又は画像情報を更に表示するよう制御することを特徴とする電子機器。

【請求項 1 4】

テレビ番組放送と、当該テレビ番組放送の途中に放送されるコマーシャル放送とを含むテレビ放送を受信して表示制御を行う受信装置から、当該受信されたテレビ放送の映像を受信する受信手段と、

前記受信装置から受信された映像がテレビ番組放送とコマーシャル放送の何れの映像であるかを判断する判断手段と、

前記判断に基づいて、前記受信されたテレビ番組放送の映像を記録する記録手段と、

前記判断に基づいて、前記受信装置による前記コマーシャル放送の受信中に、前記記録された映像のうち少なくとも一部を前記受信装置に表示させるために当該受信装置へ送信する送信手段と

を具備することを特徴とする映像処理装置。

【請求項 1 5】

テレビ番組放送と、当該テレビ番組放送の途中に放送されるコマーシャル放送とを含むテレビ放送を受信するステップと、

前記受信されたテレビ放送がテレビ番組放送とコマーシャル放送の何れであるかを判断するステップと、

前記判断に基づいて、前記受信されたテレビ番組放送の映像を記録するステップと、

前記判断に基づいて、前記コマーシャル放送の受信中に、前記記録された映像のうち少なくとも一部を表示するよう制御するステップと

を具備することを特徴とする映像処理方法。

【請求項 1 6】

番組と、当該番組の途中に挿入されるコマーシャルとを含む信号を受信する受信手段と、

前記受信された信号が番組とコマーシャルの何れであるかを判断する判断手段と、

前記判断に基づいて、前記受信された番組の映像信号を記録する記録手段と、

前記受信された映像信号を表示制御可能であり、かつ、前記判断に基づいて、前記コマーシャルの受信中に、前記記録された映像信号のうち少なくとも一部を表示するよう制御する表示制御手段と

を具備することを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

本発明の他の観点に係る映像処理方法は、テレビ番組放送と、当該テレビ番組放送の途中に放送されるコマーシャル放送とを含むテレビ放送を受信するステップと、前記受信されたテレビ放送がテレビ番組放送とコマーシャル放送の何れであるかを判断するステップと、前記判断に基づいて、前記受信されたテレビ番組放送の映像を記録するステップと、前記判断に基づいて、前記コマーシャル放送の受信中に、前記記録された映像のうち少なくとも一部を表示するよう制御するステップとを具備する。

また本発明の他の観点に係る電子機器は、番組と、当該番組の途中に挿入されるコマーシャルとを含む信号を受信する受信手段と、前記受信された信号が番組とコマーシャルの何れであるかを判断する判断手段と、前記判断に基づいて、前記受信された番組の映像信号を記録する記録手段と、前記受信された映像信号を表示制御可能であり、かつ、前記判

断に基づいて、前記コマーシャルの受信中に、前記記録された映像信号のうち少なくとも一部を表示するよう制御する表示制御手段とを具備する。